

平成 30 年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4 年間の目標 (平成 28 年度策定)	1 年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	①生徒の多岐にわたる進路に対応した教育課程の編成と協働した学び、ICT 利活用授業の研究推進に取り組む。 ②生徒会活動や学校行事等を充実させ、生徒の自主的、実践的な態度を育成する。	①協働した学びをより充実させ、ICT 利活用授業研究推進校として 3 年間の集大成を図る。 ②輝城祭体育の部・文化の部における生徒主体の積極的な取組を進める。	①年 2 回の授業研究週間と公開授業・研修会を実施する。 ①ICT を利活用した授業を進め、研究成果を地域や他校へ発信する。 ②輝城祭体育の部・文化の部において、生徒会を中心に企画から運営まで生徒を積極的に参画させる。	①生徒による授業評価で、生徒間で意見交換する機会があったとする生徒が 8 割以上となったか。 ①ICT を利活用し教員の割合が 80% を超えたか。 ②輝城祭体育の部・文化の部において生徒が、積極的に参画したか。					
2 生徒指導・支援	①基本的な生活習慣の定着と規範意識の醸成により、生徒が安心・安全で豊かな学校生活を送れるよう、生徒指導の充実を図る。 ②部活動の活性化を通じて、生徒の主体性と自主性を育むとともに、生徒支援・教育相談を充実させる。	①SMAP (城山・身だしなみ・挨拶プロジェクト) 等の実践により、問題行動の防止やいじめのない安心・安全な学校をつくる。 ②部活動加入率を上げ、運動部文化部も含め魅力ある部活動の展開を図る。	①年 3 回の生活見直し週間以外に SMAP 実施週間を位置づけ、生徒へ声かけを行う。また、年 2 回の学校生活アンケートを実施し、いじめの早期発見に努める。 ①春と秋の交通安全デーを充実させる等、警察や交通安全協会等との連携を図る。 ②部活動紹介や部活動体験の充実、試合結果や活動実績等の PR を行い、部活動加入を呼びかける。	①SMAP 実施週間での声かけが、基本的な生活習慣の定着等、生徒の指導に生かされたか。また、学校生活アンケートは有効だったか。 ①特別指導件数や交通事故件数が減少したか。 ②部活動加入率が 60% を超えたか。					
3 進路指導・支援	①生徒の多岐にわたる進路希	①自らを生かす進路探求力と、	①進路関係の年間行事計画を確実に実行し、早くか	①進路未定で卒業する生徒の数を昨					

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
		望に応じたキャリア教育の充実を図る。 ②自分なりの職業観、勤労観を持ち、進路希望の実現に向けて努力する生徒を育成する。	その実現のための確かな学力の育成に努める。 ②インターンシップ、高大連携等により、生徒の意識を高め、併せて保護者対象進路説明会の充実を図る。	①自分の進路「高校を卒業したらどうするか」に対する意識付けを行う。 ②生徒にインターンシップ、高大連携参加の呼びかけを積極的に行う。 ②年3回の保護者向け進路説明会(ガイダンス)の充実を図る。	①年度より減らすことができたか。 ②インターンシップ及び高大連携参加者が昨年度比で5名以上増えたか。 ②進路説明会に3割以上の保護者が来校したか。					
4	地域等との協働	①地域と共に歩む学校づくりを目指し、地域との協働・連携を一層強める。 ②学校へ行こう週間、輝城祭、ホームページ等を通して、地域へ積極的に情報発信する。	①地域の行事に積極的に参加・協力し、高校生の力を発揮する。 ②各種行事のPR方法の工夫、ホームページの定期的な更新と内容の充実を図る。	①公民館等の行事に部活動・生徒会単位で参加・協力し、子どもから高齢者まで幅広い年代との交流を図る。また、地域貢献デーでは環境美化に努める。 ②ホームページの城山の日に新情報を載せるとともに、各項目の内容を整理し、定期的な更新を行う。	①参加・協力した生徒が昨年度比で5名以上増えたか。地域貢献デーは環境美化につながったか。 ②ホームページは、過去の整理や確実な更新がされたか、また各種行事の来校者数が昨年度より、3%以上増えたか。					
5	学校管理 学校運営	①学習環境の整備と防災・防犯意識の醸成、安全教育の充実を図る。 ②事故・不祥事防止の徹底を図り、信頼される学校づくりを推進する。	①消防・警察署等と連携し避難訓練や安全教育を充実させる。 ②定期試験・成績処理・進路関係書類作成取扱い・入学者選抜業務事故ゼロを重点目標とする。	①避難訓練において、消防署からの助言を受けるとともに、災害図上訓練(DIG)を実施する。また、心肺蘇生法講習会や交通安全講習会を実施する。 ②マニュアルに基づく確実な業務の執行、気にかかけ・声かけ・明るい職場に努める。	①防災・防犯意識の醸成や安全教育の充実につながったか。 ②事故ゼロを維持できたか。ヒヤリハットな事例はなかったか。					